

主な取組の令和7年度取組実績、評価および令和8年度の取組状況について

資料2

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
-------	-------	-------	---------	------	------	-------	-----------	-------	-------	-----------	---------

みんなではぐくむ健幸づくり

①全世代共通の健幸づくり

栄養・食生活

評価区分の表示について

◎ 期待を超える成果があった

○ 期待どおりの成果があった

△ 期待未満の成果であった

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
野菜摂取の必要性の啓発、地元産野菜の普及啓発	食育推進事業	健康増進課	●事業の目的・内容 食育の日(毎月19日)や食育月間(毎年6月)において、共食の推進や野菜の摂取量の増加を促すための取り組みを実施します。食の大切さや興味を持ってもらえるような啓発に併せて、料理レシビサービスを使用し、地場産の野菜等のPRを行います。 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	259	●草津市クックパッド公式キッチン「草津・たび丸Kitchen」掲載レシビ数:279 総アクセス数:725,196 ●食育月間・食育の日の取組 デジタルサイネージや庁内放送、クックパットでの周知等	○	296	●草津市クックパッド公式キッチン「草津・たび丸kitchen」地場産の野菜や旬の野菜を用いたレシビ、健康づくりのためのレシビ等を作成し、月1回草津市クックパッド公式キッチンに掲載します。
	健康啓発推進事業	健康増進課	●事業の目的・内容 健康づくり推進に取り組む飲食店や運動事業所等と行政が連携した取組を実施することで、健康づくりの機運を高め、自然と健康になれる環境づくりへつなげます。 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	1,646	●参加飲食店24店舗 ●ベジめし提供数 19,626食	○	1,694	●ベジめしの提供 飲食店と連携し、ベジめし(野菜を120g以上使ったメニュー)を提供し、野菜摂取量の増加を目指します。

歩くこと・運動

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
体を動かす動機付けとなる仕組みや機会の提供	健幸フェア	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 こどもから高齢者まで、幅広い世代に対して健康づくりや運動のきっかけづくりを進めていくため、ウォーキングなど日ごろ運動をしていない方でも気軽にはじめられ、幅広い層の市民が取り組みやすい健幸づくりイベントや、食も含めた健康づくりのきっかけづくりとイベントを実施します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市健幸都市づくり基本方針	1,280	働き世代の方が仕事帰りに立ち寄れるよう、また熱中症対策として初の平日夜間開催で実施した結果、夜間の公共空間が暮らしの質を高める場として機能しうることを示すことができました。 また、「睡眠×美容」をテーマとし、参加者が日常に取り入れやすい「暮らしの改善のヒント」を提供したことで、市民が健幸づくりに取り組むことのきっかけを提供することができました。(来場者数:1,415名)	○	1,480	体験型健幸イベントである「みんなの健幸フェア」を実施し、健幸への意識・関心が低い方々に対しても、健幸づくりに取り組むためのきっかけを提供します。 R7年度は夜間開催にしたことで働き世代へのアプローチを強化できましたが、さらなる集客のため、土曜夜間での開催や、内容の充実を図っていく必要があります。
	びわこ・くさつ健幸フェスタ	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 「健幸」の重要性を発信し、より多くの人に「健幸」を意識してもらうとともに、健幸づくりや運動のきっかけづくりとするために、立命館大学と共催で、地域住民・企業・行政・学生／教職員等が集い、様々な体験ができるイベント「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を実施し、ウォーキングの楽しさやコツを学び日々のウォーキング習慣に繋げてもらえるようイベント内で「くさつ・健幸ウォークラリー」を実施します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市健幸都市づくり基本方針	328	体験型健幸イベントである「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を立命館大学と共催し、イベント内で「くさつ・健幸ウォークラリー」を実施することで、健幸への意識・関心が低い方々に対しても、健幸づくりに取り組むためのきっかけを提供することができました。(来場者数:健幸フェスタ約8,500名、うち健幸ウォークラリー1,000名)	○	429	「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を実施し、ウォーキングの楽しさやコツを学び日々のウォーキング習慣に繋げてもらえるようイベント内で「くさつ・健幸ウォークラリー」を実施します。
	草津市立プール運営事業	スポーツ推進課	●事業の目的・内容 令和7年開催の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の水泳競技会場として、また、「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」の実現を図るための施設として、令和6年8月に供用開始しました。 供用開始後は、国内の新たな水泳競技拠点として、また市民の健康づくり拠点として施設の管理・運営を行います。 ●位置付けのある関連計画等 草津市健幸都市づくり基本方針	413,507	国内の新たな水泳競技拠点として、また市民県民の健康づくり拠点として、適切に施設の管理運営を行いました。その結果、各種大会の開催等を推進するとともに市民県民のスポーツができる環境を提供することができました。	○	358,011	草津市立プールが市民の健康づくり拠点となるよう、事業者による管理運営を行い、多くの方に利用いただくとともに、各種イベント等の取組みや活動により、引き続きにぎわいの創出を図ります。
誰でも簡単にできる体操の普及、ウォーキングイベント等の開催	【再掲】健康啓発推進事業	健康増進課	●事業の目的・内容 健康づくり推進に取り組む飲食店や運動事業所等と行政が連携した取組を実施することで、健康づくりの機運を高め、自然と健康になれる環境づくりへつなげます。 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	1,646	●運動教室開催数 4回 参加者数延べ89名	○	1,694	●運動教室の開催 運動事業所と連携し、適度な運動の必要性を広く啓発し、運動の習慣化を目指します。
	【再掲】びわこ・くさつ健幸フェスタ	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 「健幸」の重要性を発信し、より多くの人に「健幸」を意識してもらうとともに、健幸づくりや運動のきっかけづくりとするために、立命館大学と共催で、地域住民・企業・行政・学生／教職員等が集い、様々な体験ができるイベント「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を実施し、ウォーキングの楽しさやコツを学び日々のウォーキング習慣に繋げてもらえるようイベント内で「くさつ・健幸ウォークラリー」を実施します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市健幸都市づくり基本方針	328	体験型健幸イベントである「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を立命館大学と共催し、イベント内で「くさつ・健幸ウォークラリー」を実施することで、健幸への意識・関心が低い方々に対しても、健幸づくりに取り組むためのきっかけを提供することができました。(来場者数:健幸フェスタ約8,500名、うち健幸ウォークラリー1,000名)	○	429	「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を実施し、ウォーキングの楽しさやコツを学び日々のウォーキング習慣に繋げてもらえるようイベント内で「くさつ・健幸ウォークラリー」を実施します。
	草津ランフェスティバル開催事業	スポーツ推進課	●事業の目的・内容 建幸都市くさつランフェスティバル実行委員会主催のランニングイベントを通じて、市民の健康保持・増進および交流の促進を図ります。 ●位置付けのある関連計画等 草津市スポーツ推進計画	2,000	市民のスポーツに対する関心や実践意識を高めるため、くさつランフェスティバルの開催を支援しました。その結果、市民の体力づくり、健康づくりと併せて、市民相互の交流を図ることができました。	○	2,000	市民の体力づくり、健康づくりと併せて、市民相互の交流を図ることができるようくさつランフェスティバルの開催を支援します。

休養・こころの健康づくり

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
市民の交流機会の創出	草津川跡地公園運営事業 草津川跡地整備事業	草津川跡地整備課	●事業の目的・内容 にぎわいが創出され、人と自然が触れ合い、うるおいがもたらされる空間づくりに取り組んでいくために、草津川跡地が市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人が関わる魅力的な空間、災害時の防災空間となるよう整備・運営を行います。 ●位置付けのある関連計画等 草津川跡地利用基本計画	委託料(指定管理料) 104,500 工事請負費(草津川跡地整備工事) 現年分 46,000 繰越明許分 101,652	・草津川跡地公園については、市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人が関わる魅力的な空間となるよう、指定管理者による管理運営を行い、多くの方に来園して利用いただくとともに各種イベント等の取組みや活動により、にぎわいを創出できました。 イベント実施件数:682件 主なイベント等:くさつ桜まつり、くさねっこプログラム、HAPPY CHRISTMAS PROJECT等 ・草津川跡地(区間6)整備事業については、国道1号から東側の草津市域の土砂撤出等を行いました。 土砂撤出、構造物撤去工、伐採工、道路築造 ※一部令和8年度に繰越して実施します。	○	委託料(指定管理料) 91,654 工事請負費(草津川跡地整備工事) 現年分 965,390 繰越明許分 81,599	・草津川跡地公園が市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人が関わる魅力的な空間となるよう、指定管理者による管理運営を行い、多くの方に来園して利用いただくとともに各種イベント等の取組みや活動により、引き続きにぎわいの創出を図ります。 ・草津川跡地(区間6)整備事業については、引き続き供用開始に向けて整備します。
	地域サロン推進事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者の生きがいづくりや社会交流の活性化を推進するため、地域サロン活動への支援に取り組むとともに、地域サロンの開催に要する経費の一部を補助します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン)	10,935	高齢者の生きがいづくりや、社会交流の活性化を推進できるよう補助金交付等を行い、高齢者福祉の増進に寄与しました。 ◆地域サロン活動支援事業補助金…地域サロン数:155クラブ	○	12,506	●地域サロン活動支援事業 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し、高齢者の生きがいづくりや、社会交流の活性化を推進できるよう地域サロン活動を支援します。
相談支援体制の充実、悩みを持つ者同士の交流の場づくり	精神保健福祉対策	健康増進課	●事業の目的・内容 精神疾患の発病予防や市民の精神的健康の保持および増進を図るため、保健・福祉・医療等関係機関と連携を図り、こころの健康相談を行います。 ●位置付けのある関連計画等 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 健康くさつ21、草津市自殺対策行動計画	52	●こころの健康に関する相談 ・こころの健康に関する相談を受け、必要な支援や医療につなぐ等、関係機関と連携した支援を行いました。 ●相談窓口リーフレットの作成・配布 ・相談窓口を一覧にした相談窓口リーフレットを作成し、関係機関等に配布する等、周知啓発をはかりました。 ●事例検討会の開催 ・相談業務従事者の資質の向上に向け、精神保健にかかる事例検討会を実施しました。年5回	○	95	●こころの健康に関する相談 こころの健康に関する相談を受け、必要な支援や医療につなぐ等、関係機関と連携した支援を行います。 ●相談窓口リーフレットの作成・配布 相談窓口を一覧にした相談窓口リーフレットを作成し、関係機関等へ配布するとともに、各種イベントや広報誌を活用し、周知啓発をはかります。 ●事例検討会の開催 相談業務従事者の資質の向上に向け、精神保健にかかる事例検討会を実施します。
	福祉の総合相談窓口	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 人とくらしのサポートセンターでは、「福祉の総合相談窓口」として、生活困窮者に限らず、複合的な課題を抱える方への相談支援を行うとともに、ひきこもり傾向にある方などに対しては、アウトリーチによる支援を実施します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市地域福祉計画、各種福祉関連計画(児童・障害等)	23,571	・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」として、多様で複合的な悩みなどの相談に対し、関係課・関係機関と連携を図りながら支援を行いました。また、市民への周知を図るため、ホームページや広報くさつへの掲載等を実施しました。 ・生活困窮者自立支援事業においては、自立相談支援、住居確保給付金、就労準備支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労支援等の事業に取り組みました。 ・総相談件数 733件(うち当センターのみ632人) (実件数) 内、生活困窮者自立相談 661件 総合相談 72件(各実件数) ・住居確保給付金 9件 (実件数(延長、再延長、再々延長含む)) ・就労準備支援事業 9件(実件数) ・一時生活支援事業 5件(実件数、延長含む) ・家計改善事業 14件(実件数) ・就労支援 43件(プラン件数)	○	28,593	●福祉の総合相談窓口 福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、生活困窮者を含む多様で複合的な生活課題を抱える人の相談を受け、相談者に寄り添いながら共に課題を整理するとともに、関係機関との連携を密にし、必要な支援に繋ぎ課題解決に向けて進めていきます。 ○健全都市に向けた効果・ねらい 生活困窮者に限らず、複合的な課題を抱えた人たちの、多様化、複雑化する福祉ニーズに対応した相談支援を行います。

住まい

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
住宅確保困難者に対する居住支援	住居確保給付金	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 離職・休職など収入の減少により経済的に困窮し、住居を失うおそれのある者等に対し、一定期間の家賃相当額の支給や転居費用の支援をすることで、住居の安定および就労機会の確保に向けた支援を行います。 ●位置付けのある関連計画等 草津市地域福祉計画、草津市住生活基本計画	<再掲> 上記「福祉の総合相談窓口」予算のうち 1421	<再掲> ・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」として、多様で複合的な悩みなどの相談に対し、関係課・関係機関と連携を図りながら支援を行いました。また、市民への周知を図るため、ホームページや広報くさつへの掲載等を実施しました。 ・生活困窮者自立支援事業においては、自立相談支援、住居確保給付金、就労準備支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労支援等の事業に取り組みました。 ・総相談件数 733件(うち当センターのみ632人) (実件数) 内、生活困窮者自立相談 661件 総合相談 72件(各実件数) ・住居確保給付金 10件 (家賃補助9件、転居費用1件 給付実績件数(延長・再延長含む):12件) ・就労準備支援事業 9件(実件数) ・一時生活支援事業 5件(実件数、延長含む) ・家計改善事業 14件(実件数) ・就労支援 43件(プラン件数)	○	<再掲> 上記「福祉の総合相談窓口」予算のうち 4,698	<再掲> ●福祉の総合相談窓口 福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、生活困窮者を含む多様で複合的な生活課題を抱える人の相談を受け、相談者に寄り添いながら共に課題を整理するとともに、関係機関との連携を密にし、必要な支援に繋ぎ課題解決に向けて進めていきます。 ○健全都市に向けた効果・ねらい 生活困窮者に限らず、複合的な課題を抱えた人たちの、多様化、複雑化する福祉ニーズに対応した相談支援を行います。
	住まいの総合相談窓口	建築政策課	●事業の目的・内容 低額所得者や高齢者、障害者等、住宅の確保に特に配慮を要する人に、住宅情報の提供等居住にかかる必要な支援体制を整備するため、滋賀県が認定する居住支援法人と市の福祉・住宅部局で構成する草津市居住支援協議会を令和7年4月1日に設立しました。 この協議会を通じて、官民連携による住宅確保要配慮者に対する居住支援相談体制の充実を図ります。 ●位置付けのある関連計画等 草津市住生活基本計画	99	草津市居住支援協議会を令和7年4月に設立し、関係居住支援法人や関係部局、関係機関等とのつながりを深め、連携体制の構築を図るとともに、個別の支援ケースへの対応を進めてまいりました。	○	100	今年度は、これまでの取組を踏まえ、新たな関係機関との連携や一層の情報共有体制の構築等、連携体制の強化を通じて、より多くの個別ケースへの支援の充実を図りたいと考えているところであり、それに向けた各種法人や市民等への情報提供や周知・普及に取り組む予定です。

たばこ・アルコール

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
路上喫煙者に対する啓発活動	たばこ対策事業	健康増進課	●事業の目的・内容 喫煙防止および受動喫煙防止について、さまざまな機会を捉えて知識の普及啓発を実施します。また、禁煙したい人が禁煙できるように情報提供等支援を行い、禁煙者の増加や望まない受動喫煙防止を目指します。 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	117	●世界禁煙デー・週間等における啓発 ・市役所庁内および南草津駅のデジタルサイネージ、HPへの掲載と草津駅前での啓発活動を行いました。 ・草津市健康都市賛同事業所に対し受動喫煙対策チラシを送付し、啓発を行いました。 ●受動喫煙防止にかかる啓発 ・「望まない受動喫煙の社会の実現」を図るため、庁内関係所属と連携し、ポスター掲示など啓発を行いました。	○	175	●禁煙や受動喫煙防止にかかる啓発 広報紙やSNS等を活用し、喫煙や受動喫煙が心身に及ぼす影響に関する情報や、喫煙したい人が喫煙できるように情報提供を行います。
	路上喫煙対策事業	生活安心課	●事業の目的・内容 路上喫煙禁止区域内での喫煙者のマナーの向上や望まない受動喫煙防止を図るため、路上喫煙の防止に向けた啓発を行うとともに、草津駅および南草津駅の両駅に設置する喫煙所(マナースペース)の維持管理等を行います。 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	8,058	路上喫煙の防止に向けて、巡回啓発を年間372回(草津駅276回、南草津駅96回)行うとともに、清掃や機械警備により、喫煙所の適正な維持管理に努めました。	○	8,441	より効果的な巡回啓発を行うとともに、路上喫煙の防止に向けた啓発や喫煙所の維持管理に努めます。 R7年度は路上喫煙の防止に向けた啓発や喫煙所の適正な維持管理に努めてまいりましたが、引き続き、路上喫煙禁止区域内での喫煙者のマナーの向上や望まない受動喫煙防止を図ります。

健康診査・各種けん診

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
健康診査やがん検診等の受診率向上対策	各種がん検診事業 特定保健指導	健康増進課	●事業の目的・内容 がんの早期発見・早期治療により、がんの死亡率減少を目的に、対象年齢の市民に対し、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの検診を実施するため、地域の医療機関および特定健診会場での同時実施が可能な集団けん診会場での検診体制を整えます。 特定健康診査の結果から生活習慣病のリスクが高いと判断された方に対して生活改善の指導を実施します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業実施計画(特定健康診査等実施計画・データヘルス計画)、健康くさつ21	健康診査費 135,515 特定保健指導費 9,427	●がん検診・各種けん診等の実施 受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行いました。 ・医療機関での個別検診および特定健診との同時受診が可能な集団けん診を行いました。また、集団けん診については、予約枠拡大、Web予約の実施とともに、託児支援を受けられる環境づくりを行いました。 ・ナッジ理論を活用し、がん検診対象者に個別勧奨・再勧奨通知と大腸がん検査キット送付を行いました。 ・子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行いました。 ・イオンシネマや市SNS公式アカウントにおけるがん検診啓発動画を放映しました。 受診率(R7) ・胃がん検診 2.7% ・子宮頸がん検診 13.8% ・乳がん検診 11.7% ・肺がん・結核検診 9.6% ・大腸がん検診 8.0% ●特定保健指導 特定保健指導未利用者に対するの訪問や、イベント型特定保健指導の実施など、実施率向上に努め、特定保健指導実施者の増加に繋げることができました。	○	健康診査費 155,056 特定保健指導費 16,472	●がん検診・各種けん診等の実施 受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行います。 ナッジ理論を取り入れた勧奨通知によるがん検診個別勧奨と大腸がん検査キット送付による再勧奨を行います。 子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行います。 集団検診におけるWeb予約の実施、託児支援を行います。 ●特定保健指導 特定保健指導利用向上をはかるため、引き続き訪問指導を積極的に行います。
	特定健康診査 後期高齢者健康診査	保険年金課	●事業の目的・内容 特定健康診査については、個別健診と集団けん診を併用して特定健診を実施するとともに、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付し、受診率の向上を目指します。また、生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケートの実施、集団けん診会場での健康啓発ブースの設置を行います。 後期高齢者健康診査については、後期高齢者医療制度加入者に対し、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受けて、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査を実施します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業推進計画(データヘルス計画・特定健康診査等実施計画)	特定健康診査費 71,163 後期高齢者健康診査費 48,898	●特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(12回)を併用して特定健診を実施しました。 ・特定健診受診勧奨対象者の過去の受診状況等のデータ分析を行い、対象者の特徴に応じて通知やSMSを活用した受診勧奨を実施しました。 (通知:8月・10月・12月・1月 計18,262通) (SMS:9月・10月・12月 計6,000件) ・特定健診未受診者に対して、電話による電話勧奨を実施しました。 (電話回数:2,000件、うち本人に通话406件、予約済・受診意思あり281件) ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケート配布を実施しました(配布枚数:400枚)。 ・明治安田生命相互会社および第一生命保険株式会社との健康都市づくりの推進に向けた連携協定に基づき、集団健診会場に健康ブースを設置するとともに、保険外交員による啓発チラシの配付を行いました。 (健康ブースによる健康啓発:6回) ●後期高齢者健康診査 ・5月末に受診券を送付し、2月末まで健康診査を実施しました。 ・未受診者を対象に受診勧奨通知を送付しました。(10月15,069通)	○	特定健康診査費 95,682 後期高齢者健康診査費 64,358	●特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(12回)を併用して特定健診を実施します。 ・集団けん診では、託児サービスやショッピングモールでの実施等により、若い世代のけん診受診の機会を確保します。 ・電話と電子申請を併用して集団けん診を受け付けます。 ・受診勧奨を委託することで、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知の送付や電話勧奨、SMSを利用した勧奨を行います。 ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発や集団けん診会場で健康啓発ブースを設置します。 ●後期高齢者健康診査 ・滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受けて、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査を実施します。 ○健康都市に向けた効果・ねらい ・特定健康診査や後期高齢者健康診査を実施することで、被保険者の健康課題等を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、被保険者の健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持および向上を図ります。

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
けん診を受けやすい環境の整備		【再掲】 各種がん検診事業	健康増進課			●事業の目的・内容 がんの早期発見・早期治療により、がんの死亡率減少を目的に、対象年齢の市民に対し、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの検診を実施するため、地域の医療機関および特定健診会場での同時実施が可能な集団けん診会場での検診体制を整えます。 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	135,515	●がん検診・各種けん診等の実施 受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行いました。 ・医療機関での個別検診および特定健診との同時受診が可能な集団けん診を行いました、また、集団けん診については、予約枠拡大、Web予約の実施とともに、託児支援を受けられる環境づくりを行いました。 ・ナッジ理論を活用し、がん検診対象者に個別勧奨・再勧奨通知と大腸がん検査キット送付を行いました。 ・子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行いました。 ・イオンシネマや市SNS公式アカウントにおけるがん検診啓発動画を放映しました。 受診率(R7) ・胃がん検診 2.7% ・子宮頸がん検診 13.8% ・乳がん検診 11.7% ・肺がん・結核検診 9.6% ・大腸がん検診 8.0% ●特定保健指導 特定保健指導未利用者に対しての訪問や、イベント型特定保健指導の実施など、実施率向上に努め、特定保健指導実施者の増加に繋げることができました。	○	155,056	●がん検診・各種けん診等の実施 受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行います。 ナッジ理論を取り入れた勧奨通知によるがん検診個別勧奨と大腸がん検査キット送付による再勧奨を行います。 子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行います。 集団検診におけるWeb予約の実施、託児支援を行います。
						●事業の目的・内容 特定健康診査については、個別健診と集団けん診を併用して特定健診を実施するとともに、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付し、受診率の向上を目指します。また、生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケートの実施、集団けん診会場での健康啓発ブースの設置を行います。 後期高齢者健康診査については、後期高齢者医療制度加入者に対し、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受けて、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査を実施します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業推進計画(データヘルス計画・特定健康診査等実施計画)	特定健康診査費 71,163	●特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(12回)を併用して特定健診を実施しました。 ・特定健診受診勧奨対象者の過去の受診状況等のデータ分析を行い、対象者の特徴に応じて通知やSMSを活用した受診勧奨を実施しました。 (通知:8月・10月・12月・1月 計18,262通) (SMS:9月・10月・12月 計6,000件) ・特定健診未受診者に対して、電話による電話勧奨を実施しました。 (電話回数:2,000件、うち本人に通话406件、予約済・受診意思あり281件) ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケート配布を実施しました(配布枚数約400枚)。 ・明治安田生命相互会社および第一生命保険株式会社との健康都市づくりの推進に向けた連携協定に基づき、集団健診会場に健康ブースを設置するとともに、保険外交員による啓発チラシの配付を行いました。 (健康ブースによる健康啓発:6回)	○	特定健康診査費 95,682	●特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(12回)を併用して特定健診を実施します。 ・集団けん診では、託児サービスやショッピングモールでの実施等により、若い世代のけん診受診の機会を確保します。 ・電話と電子申請を併用して集団けん診を受け付けます。 ・受診勧奨を委託することで、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知の送付や電話勧奨、SMSを利用した勧奨を行います。 ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発や集団けん診会場で健康啓発ブースを設置します。 ○健康都市に向けた効果・ねらい ・特定健康診査や後期高齢者健康診査を実施することで、被保険者の健康課題等を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、被保険者の健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持および向上を図ります。

世代ごとの健幸づくり

子育て世代(親:妊娠・出産・子育て期、子:乳幼児期)

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
妊娠・出産・子育ての切れ目のない相談・支援体制	【草津市子育て6つの楽だ】 第3子以降保育料無償化事業	幼児課 幼児施設課	●事業の目的・内容 広く子育て世帯の負担を軽減し、多子世帯にとって子育てしやすいまちの実現を目指すことを目的に、第3子以降の保育料について、所得制限なし・年齢制限なしでの無償化を実施する。 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	61,100	0～2歳までの第3子以降の保育料について、所得制限なし・年齢制限なしでの無償化を実施し、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図ることができました。(対象者数208名)	○	64,337	引き続き、第3子以降の保育料の支援を行い、広く子育て世帯の負担を軽減し、多子世帯にとって子育てしやすいまちの実現を目指します。
	【草津市子育て6つの楽だ】 保育士等奨学金返還支援事業	幼児課	●事業の目的・内容 職場への定着を促進し、保育人材の確保を図ることを目的に、大学等の在学中に奨学金の貸与を受けて修学し、卒業後に新たに市内の保育施設等へ就職した保育士に対し、奨学金返還に係る費用支援する。 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	4,028	令和6年度に引き続き、対象者へ奨学金返還に係る費用支援し、保育士の確保につなげ、保育環境の充実を図ることができました。(対象者数33名)	○	10,437	引き続き、奨学金返還に係る費用支援を行い、保育士の職場への定着を促進し、保育人材の確保を図ります。
	【草津市子育て6つの楽だ】 保育士等就職定着応援支援事業	幼児課	●事業の目的・内容 働きがいのある就業環境を構築し、離職を防止することを目的に、市内の私立保育施設等に新たに就職された保育士を対象に「就職定着応援支援金」を支給する。 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	15,400	令和6年度に引き続き、対象者へ就職定着応援支援金を支給することにより、保育士の定着につなげ、保育環境の充実を図ることができました。(対象者数154名)	○	24,300	引き続き、就職定着応援支援金を給付し、保育士の職場への定着を促進し、保育人材の確保を図ります。
	【草津市子育て6つの楽だ】 子ども医療費助成事業	保険年金課	●事業の目的・内容 子ども医療費助成の対象を12歳から18歳へ拡大することで、子育て世帯等の負担軽減を図り、安心して子育てができる環境づくりを推進します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	203,267	子育て世帯等への負担軽減を図ることが出来ました。 (助成件数:84,406件)	○	213,063	助成要件を確認のうえ適切に助成を行い、子育て世帯等の負担軽減を図ります。
	【草津市子育て6つの楽だ】 紙おもつ無償化事業	幼児課 発達支援センター	●事業の目的・内容 保護者のおむつ補充等や保育士のおむつ管理に係る負担を軽減することを目的に、定期的に市内の保育施設等に紙おもつを配置する。 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	39,714	保護者のおむつ補充等や保育士のおむつ管理に係る負担を軽減することができました。	○	40,586	引き続き、市内の保育施設等に紙おもつを配置し、保護者および保育士の負担軽減を図ります。
	【草津市子育て6つの楽だ】 すくすく応援事業	子育て相談センター	●事業の目的・内容 次世代を担うこどもの健やかな成長を応援し、子育て世帯の経済的負担を軽減することにより、安心して子育てができる環境を整えることを目的とし、1歳未満のこどもがいる家庭に対して1人あたり3万円の商品券を配布することで、おもつ等の購入費用の助成を行い、子育て支援の充実を図ります。 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	33,960	●すくすく応援事業商品券配布数:1,132人 1歳未満のこどもがいる世帯に対して、おもつ等の購入費用の助成を行い、子育て支援の充実を図りました。	○	36,000	●すくすく応援事業商品券配布数:1,200人 1歳未満のこどもがいる世帯に対して、おもつ等の購入費用の助成を行い、子育て支援の充実を図ります。

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
				総合相談事業	子育て相談センター	●事業の目的・内容 母子健康手帳の交付では妊婦の心身の状況の把握をするとともに不安や心配の軽減・解消を図り、妊婦自身およびパートナーやこどもの健康の保持増進について考える機会となるよう、全妊婦と面談を実施します。必要があれば個別支援プランを作成し、切れ目ない支援につなげます。また、妊産婦・子育て家庭の個別ニーズを把握し、情報提供や相談支援を実施し、不安や心配の解消・軽減を図り、必要なサービスを円滑に利用できるよう支援します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画、第二次草津市障害者計画	5,222	●総合相談実績：2,079人(延べ) 妊娠、出産、子育てにおいて情報提供や相談支援を行い、不安軽減や必要なサービス利用の調整の支援を行いました。	○	9,864	妊娠や出産および子育てに関する情報提供や相談支援を通して不安の軽減を図り、必要なサービスを円滑に利用できるよう支援します。
				妊婦健診事業	子育て相談センター	●事業の目的・内容 妊婦健診にかかる費用を公費にて助成し、妊婦の健康管理の充実および経済的負担の軽減を図ります。 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画、第二次草津市障害者計画	125,167	●妊婦健診受診券発行者数：1,191人 受診実人数：1,684人 受診延人数：12,529人 妊婦健診受診券を発行し、妊婦の健康管理の充実および経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産できるように支援しました。	○	142,812	●妊婦健診受診券発行者数：1,116人 妊婦の健康の保持増進を図るため、必要時医療機関と連携し妊婦の健康管理を行います。
				新生児訪問事業	子育て相談センター	●事業の目的・内容 概ね生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、養育者の心身の状況を把握し、育児等に係る相談、指導等の支援を行います。また、育児不安の解消を行うとともに、虐待予防の観点から養育支援が必要なケースを早期に発見し、関係機関と連絡調整を図ります。 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	14,547	●対象者数 1,014件 ●訪問件数 994件 ●訪問率 98.0% 昨年度に引き続き、高い訪問率を維持できました。訪問の拒否はおらず、長期里帰りや長期入院、出生後すぐの転居などで新生児訪問に行けなかったことが訪問率に影響しています。新生児訪問事業により把握した養育に支援の必要なケースに対しては、その後訪問や電話や母子保健事業を通して継続した支援を行いました。長期里帰りについては、里帰り先での訪問結果をもとに草津での支援を継続しています。	○	17,637	●訪問見込み件数 1,125件 相談対応や育児への助言等を行い、不安の軽減を図ります。また、育児支援の必要なケースを早期発見し、適切な子育て支援サービスや継続支援につなげます。
	子育て拠点の整備や運営体制の強化	児童館、つどいの広場、子育て支援センターほかほかタウン、地域子育て支援センター、地域子育て支援拠点施設運営事業	子育て相談センター	●事業の目的・内容 子育て家庭の親とそのこどもが気軽に集い、ふれあいながら相互に交流を図る場を提供します。また、育児相談、イベントの開催、園児との交流、情報提供を行います。 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画、第3次草津市障害者計画	101,885	●各施設延べ利用者数 117,291人 つどいの広場運営事業：3,857人 子育て支援センターほかほかタウン：11,341人 地域子育て支援センター：18,998人 地域子育て支援拠点施設運営事業：83,095人 子育て家庭の親子が気軽に集い、交流する場の提供を行うとともに、育児相談や情報提供等を行い、こどもの健やかな育ちを支援しました。	○	122,812	●見込利用者数 118,873人 (子育て相談センター、地域子育て支援センター、つどいの広場、子育て支援拠点施設) 子育て家庭の親子が気軽に集い、交流できる場の提供を行うとともに、育児相談や情報提供等を行いこどもの健やかな育ちを支援していきます。また、育児相談をしやすい環境づくりができるよう努めます。		

児童・学生世代(少年期・青年期)

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
不登校・ひきこもり等への相談・復帰支援	こども若者育成支援推進事業	こども家庭若者課	●事業の目的・内容 社会生活を円滑に営む上で困難を有することも・若者とその家族を適切な支援につなげるため、こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども若者支援協議会の運営に取り組むとともに、ヤングケアラーへの支援、不登校やひきこもり等の課題に対する居場所の設置等を通じて、困難を抱えるこども・若者や家族の自立を支援します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	17,089	・こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども若者支援協議会の運営、ヤングケアラーへの支援、こども・若者の居場所運営事業を実施し、こども・若者やその家族の自立に向けた支援を行うことができました。 ・こども食堂運営者が安心して継続運営が行えるように、草津市社会福祉協議会を通じて、こども食堂の開催回数に応じて10団体に補助を行いました。また、こども食堂相互の情報交換、交流を目的に開催したこども食堂情報交換会を2回実施し、延べ28団体の参加があり、顔の見える関係を築くことができました。	○	18,824	こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども・若者支援協議会の運営、ヤングケアラーへの支援、こども・若者の居場所運営事業を継続実施し、困難を抱えるこども・若者や家族の自立を支援します。 また、こども食堂運営者が安心して継続運営するため、草津市社会福祉協議会と連携して支援します。
こどもの貧困対策、孤独・孤立化対策	いきづらさを抱える人のサロン(居場所づくり事業)	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 ひきこもり傾向にある若者等の生きづらさを抱える方が社会参加できる場づくりを行う団体の活動支援を行います。 ●位置付けのある関連計画等 草津市地域福祉計画	3,678	ひきこもり傾向にある方等の社会参加を図るため、居場所や活動の場の提供をする事業所に運営費補助を実施し活動支援を行いました。	○	3,845	ひきこもり傾向にある方等の社会参加を図るため、居場所や活動の場の提供をする事業所に運営費補助を実施し活動支援を行います。
	【再掲】こども若者育成支援推進事業	こども家庭若者課	●事業の目的・内容 社会生活を円滑に営む上で困難を有することも・若者とその家族を適切な支援につなげるため、こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども若者支援協議会の運営に取り組むとともに、ヤングケアラーへの支援、不登校やひきこもり等の課題に対する居場所の設置等を通じて、困難を抱えるこども・若者や家族の自立を支援します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市こども・若者計画	17,089	・こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども若者支援協議会の運営、ヤングケアラーへの支援、こども・若者の居場所運営事業を実施し、こども・若者やその家族の自立に向けた支援を行うことができました。 ・こども食堂運営者が安心して継続運営が行えるように、草津市社会福祉協議会を通じて、こども食堂の開催回数に応じて10団体に補助を行いました。また、こども食堂相互の情報交換、交流を目的に開催したこども食堂情報交換会を2回実施し、延べ28団体の参加があり、顔の見える関係を築くことができました。	○	18,824	こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども・若者支援協議会の運営、ヤングケアラーへの支援、こども・若者の居場所運営事業を継続実施し、困難を抱えるこども・若者や家族の自立を支援します。 また、こども食堂運営者が安心して継続運営するため、草津市社会福祉協議会と連携して支援します。

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
働き世代(壮年期、中年期)											
◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要				◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
睡眠の重要性・ストレス対処法等に係る啓発	【再掲】 精神保健福祉対策	健康増進課	●事業の目的・内容 精神疾患の発病予防や市民の精神的健康の保持および増進を図るため、保健・福祉・医療等関係機関と連携を図り、こころの健康相談を行います。 ●位置付けのある関連計画等 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 健康くさつ21、草津市自殺対策行動計画				52	●各種イベント等における啓発 ・睡眠の重要性や生活リズムに関する正しい知識について、相談窓口リーフレットに記載、配布することで普及・啓発を図りました。 ●広報くさつでの啓発 ・メンタルヘルスデーのある10月号にて、睡眠が心身の健康に欠かせないことから、良い睡眠を保つためのポイントを掲載し、普及啓発を図りました。また、精神保健福祉普及運動週間のある12月号や自殺対策強化月間のある3月の特集号にて、こころの病気に関する正しい知識や相談窓口の掲載し、普及周知を図りました。	○	95	●各種イベントや広報誌を活用した啓発 睡眠の重要性や生活リズムに関する正しい知識の普及・啓発を図ります。 ●草津市健幸都市宣言賛同企業・団体への啓発 睡眠は、体だけでなくこころの健康に深く関わっていることから、働き世代に向けた啓発を行います。
	特定健診・がん検診等の受診率向上対策	【再掲】 各種がん検診事業 特定保健指導	健康増進課	●事業の目的・内容 がんの早期発見・早期治療により、がんの死亡率減少を目的に、対象年齢の市民に対し、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの検診を実施するため、地域の医療機関および特定健診会場での同時実施が可能な集団けん診会場での検診体制を整えます。 特定健康診査の結果から生活習慣病のリスクが高いと判断された方に対して生活改善の指導を実施します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業実施計画(特定健康診査等実施計画・データヘルス計画)、健康くさつ21				健康診査費 135,515 特定保健指導費 9,427	●がん検診・各種けん診等の実施 受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行いました。 ・医療機関での個別検診および特定健診との同時受診が可能な集団けん診を行いました、また、集団けん診については、予約枠拡大、Web予約の実施とともに、託児支援を受けられる環境づくりを行いました。 ・ナッジ理論を活用し、がん検診対象者に個別勧奨・再勧奨通知と大腸がん検査キット送付を行いました。 ・子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行いました。 ・イオンシネマや市SNS公式アカウントにおけるがん検診啓発動画を放映しました。 受診率(R7) ・胃がん検診 2.7% ・子宮頸がん検診 13.8% ・乳がん検診 11.7% ・肺がん・結核検診 9.6% ・大腸がん検診 8.0% ●特定保健指導 特定保健指導未利用者に対しての訪問や、イベント型特定保健指導の実施など、実施率向上に努め、特定保健指導実施者の増加に繋げることができました。	○	健康診査費 155,056 特定保健指導費 16,472
【再掲】 特定健康診査		保険年金課	●事業の目的・内容 特定健康診査については、個別健診と集団けん診を併用して特定健診を実施するとともに、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付し、受診率の向上を目指します。また、生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケートの実施、集団けん診会場での健康啓発ブースの設置を行います。 後期高齢者健康診査については、後期高齢者医療制度加入者に対し、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受けて、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査を実施します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業推進計画(データヘルス計画・特定健康診査等実施計画)				特定健康診査費 71,163	●特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(12回)を併用して特定健診を実施しました。 ・特定健診受診勧奨対象者の過去の受診状況等のデータ分析を行い、対象者の特徴に応じて通知やSMSを活用した受診勧奨を実施しました。 (通知:8月・10月・12月・1月 計18,262通) (SMS:9月・10月・12月 計6,000件) ・特定健診未受診者に対して、電話による電話勧奨を実施しました。 (電話回数:2,000件、うち本人に通話406件、予約済・受診意思あり281件) ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケート配布を実施しました(配布枚数:400枚)。 ・明治安田生命相互会社および第一生命保険株式会社との健幸都市づくりの推進に向けた連携協定に基づき、集団健診会場に健康ブースを設置するとともに、保険外交員による啓発チラシの配付を行いました。 (健康ブースによる健康啓発:6回)	○	特定健康診査費 95,682	●特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(12回)を併用して特定健診を実施します。 ・集団けん診では、託児サービスやショッピングモールでの実施等により、若い世代のけん診受診の機会を確保します。 ・電話と電子申請を併用して集団けん診を受け付けます。 ・受診勧奨を委託することで、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知の送付や電話勧奨、SMSを利用した勧奨を行います。 ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発や集団けん診会場で健康啓発ブースを設置します。 ○健幸都市に向けた効果・ねらい ・特定健康診査や後期高齢者健康診査を実施することで、被保険者の健康課題等を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、被保険者の健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持および向上を図ります。

高齢世代(高年期)

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
高齢者の生きが いづくり	老人クラブ活動 費補助事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者の社会参加や生きがいづくり等の推進のため、また、高齢者が身近な場所で支え合う関係づくりができるよう、老人クラブ活動への支援に取り組むとともに、老人クラブが実施する事業に要する経費の一部を補助します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン)	1,830	高齢者がいきいきと充実した生活が送れるよう補助金交付等を行った結果、高齢者福祉の増進が図れました。 ◆老人クラブ活動費補助金…クラブ数:19クラブ	○	1,831	●老人クラブ活動費補助事業 高齢者の生きがいづくり・仲間づくり・健康づくりや地域の見守り活動等を行う老人クラブの活動を支援します。
	【再掲】地域サロ ン推進事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者の生きがいづくりや社会交流の活性化を推進するため、地域サロン活動への支援に取り組むとともに、地域サロンの開催に要する経費の一部を補助します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン)	10,935	高齢者の生きがいづくりや、社会交流の活性化を推進できるよう補助金交付等を行い、高齢者福祉の増進に寄与しました。 ◆地域サロン活動支援事業補助金…地域サロン数:155クラブ	○	12,506	●地域サロン活動支援事業 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し、高齢者の生きがいづくりや、社会交流の活性化を推進できるよう地域サロン活動を支援します。
フレイル予防対 策(啓発を含む)	高齢者の保健事 業と介護予防等 の一体的実施事 業	長寿いきがい課 保険年金課 人とくらしのサ ポートセンター 健康増進課	●事業の目的・内容 地域の通いの場等に出向き、フレイル予防や生活習慣病予防に関する講話や保健指導の実施、保健師等の専門職による口腔機能のリスク者や健康状態不明者に対し、健康状態の把握と保健指導等を行うことにより、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防を図る。 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン)	【長寿いきがい課】 1,328 【健康増進課】 381	ポピュレーションアプローチとして、地域の通いの場等に出向き、フレイル予防や生活習慣病予防に関する講話や保健指導を実施しました。 ハイレスクアプローチとして、保健師等の専門職による口腔機能のハイレスク者や高血圧等の生活習慣病重症化リスクのある者に対し健康状態の把握と保健指導等を行いました。これらを併せて実施することにより、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防を図りました。 【R7実績】ポピュレーションアプローチ 医療専門職による出前講座 71回 延べ1,114人 健幸フレイル予防講座:12回 延べ58人 【R7実績】ハイレスクアプローチ 介入者:82人	○	【長寿いきがい課】 1,301 【健康増進課】 974	●高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業 ポピュレーションアプローチとして、地域の通いの場等に出向き、フレイル予防や生活習慣病予防に関する講話や保健指導の実施します。令和8年度からは、「健幸フレイル予防講座」とあわせて「AI×フレイル予防運動教室」を開催し、高齢者の方にフレイルに関する正しい知識を提供するとともに、運動を習慣化していただくきっかけとすることで、フレイル予防を図ります。 ハイレスクアプローチとして、保健師等の専門職による口腔機能・低栄養のハイレスク者や重症化予防の対象者、および健康状態不明者に対し、健康状態の把握と保健指導等を行うことにより、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防を図ります。
	地域介護予防活 動支援事業(いき いき百歳体操・草 津歯・口からこ んには体操)	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者の社会参加の促進と高齢者がいきいきと生活し続ける地域づくりを目的に高齢者の身近な地域でいきいき百歳体操、草津歯・口からこんには体操の普及および活動の継続支援を行います。 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン)	8,992	介護予防(いきいき百歳体操、草津歯口からこんには体操、転倒予防)に取組む団体への立ち上げ、継続支援を行いました。 【R7実績】 ・いきいき百歳体操:129団体 ・草津歯口からこんには体操:114団体 ・転倒予防体操:47団体 いきいき百歳体操サポーター、転倒予防サポーター、脳活リーダーの養成 【R7実績】 ・いきいき百歳体操:5人(延320人) ・転倒予防:5人(延204人) ・脳活リーダー:7人(延274人)	○	9,804	地域介護予防活動支援事業(いきいき百歳体操・草津歯・口からこんには体操) 高齢者の社会参加の促進と高齢者がいきいきと生活し続ける地域づくりを目的に高齢者の身近な地域でいきいき百歳体操、草津歯・口からこんには体操の普及および活動の継続支援を行います。
	AI×フレイル予 防運動教室事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 集団での運動教室、およびAIを活用したオーダーメイドの運動プログラムを提供することにより、運動の習慣化を図ります。(高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業) ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン)	—	—	—	4,971	令和8年度から、「AI×フレイル予防運動教室(健幸フレイル予防講座と同時開催)」を開催し、高齢者の方にフレイルに関する正しい知識を提供するとともに、運動を習慣化していただくきっかけとすることで、フレイル予防を図ります。
	eスポーツ・プ ール介護予防事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるよう、eスポーツ事業やプールを活用した介護予防教室を実施し、介護予防やフレイル予防に関する取組を推進します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン)	3,164	eスポーツ介護予防事業およびプール介護予防教室について、高齢者が主体的に介護予防に取り組むきっかけづくりのため、各地域まちづくりセンターでのeスポーツ講座、草津市立プールでの介護予防教室等を開催し、介護予防の普及啓発を図ることができました。 【R7年度実績】 ・出張eスポーツ14回参加者189人 ・eスポーツ体験教室 12回(1クール6回) 参加者40人 ・eスポーツ地域出前講座 20回 参加者280人 ・プール介護予防教室 36回(1クール12回) 参加者84人	○	4,004	高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるよう、介護予防に関する知識および必要性の普及啓発に引き続き取り組めます。 また、令和8年度はeスポーツ対決チャレンジ講座及びシニアeスポーツ大会を開催し、高齢者等がeスポーツに取り組み、講座や大会を通じて、他者との交流や社会参加、いきがい、自己肯定感の向上につながることで、高齢者の介護予防の促進を図っていきます。

健康につながるまちづくり

支え合いのまちづくり

地域共生社会の推進

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
活動団体相互の交流の促進、地域のネットワークづくり	子ども食堂支援事業	子ども家庭若者課	●事業の目的・内容 地域で継続的に子ども食堂を実施している運営者に対して草津市社会福祉協議会と連携して支援することを通じて、顕在化しにくい、子どもが抱える悩みや課題などを探り、併せて子どもへの食事の提供および安心して過ごすことのできる居場所の提供を促します。市内の子ども食堂運営者を対象に情報交換会等を開催することで運営上の課題の共有、情報交換を促し、子ども食堂間相互の活動の充実を図ります。また、子ども食堂の自発性と多様性を尊重しながら、地域に根ざしたネットワークづくりを進めていけるよう促します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市子ども・若者計画	297	・子ども食堂運営者が安心して継続運営が行えるように、草津市社会福祉協議会を通じて、子ども食堂の開催回数に応じて10団体に補助を行いました。また、子ども食堂相互の情報交換、交流を目的に開催した子ども食堂情報交換会を2回実施し、延べ28団体の参加があり、顔の見える関係を築くことができました。	○	426	子ども食堂運営者が安心して継続運営が行えるように、草津市社会福祉協議会を通じて補助を行い、子どもへの食事の提供および安心して過ごすことのできる居場所の提供を支援します。 また、子ども食堂への訪問や、子ども食堂運営者を対象に、教育部局と連携して、研修・交流会を開催することで、しんどさを抱える子ども・若者の支援につながるような、学校と地域とのネットワークづくりを促進します。
	重層的支援体制整備事業	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 複雑化・複合化した課題がある世帯や狭間の課題があるケースの支援について、多機関協働として人とくらしのサポートセンターが総合調整役となり、関係課・関係機関で支援チームを構成し、それぞれの役割分担や支援の方向性を検討して支援を行います。また、長期的な寄り添いや伴走支援によるアウトリーチ支援事業や参加支援事業等を一体的に実施することで、地域や社会参加へ繋げ、包括的な支援体制の強化を図ります。 ●位置付けのある関連計画等 草津市地域福祉計画、各種福祉関連計画(児童・高齢者・障害・困窮等)	16,778	子ども・障害・高齢・生活困窮等といった各分野の相談支援事業と地域づくり事業や、各支援を支える多機関協働事業、参加支援事業、アウトリーチ支援事業を一体的に取り組み、コーディネート会議の開催を通じて複雑化・複合化した課題やはざまの課題がある世帯の支援について総合調整を行い、世帯支援のチーム形成や関係機関の連携強化を図ることができました。 コーディネート会議開催数 42回	○	18,126	子ども・障害・高齢・生活困窮等といった各分野の相談支援事業と地域づくり事業や、各支援を支える多機関協働事業、参加支援事業、アウトリーチ支援事業を一体的に取り組み、複雑化・複合化した課題やはざまの課題がある世帯の支援を検討するコーディネート会議を開催し、支援関係課や関係機関との分野横断的に連携した支援体制の強化を図ります。
	【再掲】福祉の総合相談窓口	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 人とくらしのサポートセンターでは、「福祉の総合相談窓口」として、生活困窮者に限らず、複合的な課題を抱える方への相談支援を行うとともに、ひきこもり傾向にある方などに対しては、アウトリーチによる支援を実施します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市地域福祉計画、各種福祉関連計画(児童・障害等)	23,571	・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」として、多様で複合的な悩みなどの相談に対し、関係課・関係機関と連携を図りながら支援を行いました。また、市民への周知を図るため、ホームページや広報くさつへの掲載等を実施しました。 ・生活困窮者自立支援事業においては、自立相談支援、住居確保給付金、就労準備支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労支援等の事業に取り組みました。 ・総相談件数 733件(うち当センターのみ632人) (実件数) 内、生活困窮者自立相談 661件 総合相談 72件(各実件数) ・住居確保給付金 9件 (実件数(延長、再延長、再々延長含む)) ・就労準備支援事業 9件(実件数) ・一時生活支援事業 5件(実件数、延長含む) ・家計改善事業 14件(実件数) ・就労支援 43件(プラン件数)	○	28,593	●福祉の総合相談窓口 福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、生活困窮者を含む多様で複合的な生活課題を抱える人の相談を受け、相談者に寄り添いながら共に課題を整理するとともに、関係機関との連携を密にし、必要な支援に繋ぎ課題解決に向けて進めていきます。 ○健康都市に向けた効果・ねらい 生活困窮者に限らず、複合的な課題を抱えた人たちの、多様化、複雑化する福祉ニーズに対応した相談支援を行います。
	がん患者アピアランスケア支援事業	健康増進課	●事業の目的・内容 がん患者が購入する補整具の購入費用の一部を助成し、がん治療の副作用に伴う外見の変化に対し、その心理的および経済的な負担を軽減し、社会参加を促進します。 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	437	●助成件数 46件 ●医療機関、働き世代へ事業の啓発 県内、市内のがん治療を実施している医療機関や市内薬局、ウィッグ店にちらしを配布し、がん患者や医療従事者に対し本事業の啓発を実施しました。また、健康都市賛同事業所や健康イベントにて、働き世帯や地域住民に対しても広く本事業の啓発を行いました。	○	2,565	●助成件数 108件 ●助成事業の拡大 従来の助成対象(医療用等ウィッグ、帽子、乳房補整具)に、新たにエビデーゼを追加します。また助成額を購入費用の半額(上限30,000円)に拡大します。助成回数についても助成対象者1人につき、助成対象それぞれ2回まで拡大します。 ●医療機関、働き世代へ事業の啓発 県内、市内のがん治療を実施している医療機関や市内薬局、ウィッグ店にちらしを配布し、がん患者や医療従事者に対し本事業の啓発を実施します。また、健康都市賛同事業所や健康イベントにて、働き世帯や地域住民に対しても広く本事業の啓発を行います。
	【再掲】住まいの総合相談窓口	建築政策課	●事業の目的・内容 低額所得者や高齢者、障害者等、住宅の確保に特に配慮を要する人に、住宅情報の提供等居住にかかる必要な支援体制を整備するため、滋賀県が認定する居住支援法人と市の福祉・住宅部局で構成する草津市居住支援協議会を令和7年4月1日に設立しました。 この協議会を通じて、官民連携による住宅確保要配慮者に対する居住支援相談体制の充実を図ります。 ●位置付けのある関連計画等 草津市住生活基本計画	99	草津市居住支援協議会を令和7年4月に設立し、関係居住支援法人や関係部局、関係機関等とのつながりを深め、連携体制の構築を図るとともに、個別の支援ケースへの対応を進めてまいりました。	○	100	今年度は、これまでの取組を踏まえ、新たな関係機関との連携や一層の情報共有体制の構築等、連携体制の強化を通じて、より多くの個別ケースへの支援の充実を図りたいと考えているところであり、それに向けた各種法人や市民等への情報提供や周知・普及に取り組む予定です。
地域包括ケアシステムの推進	高齢者総合相談・支援事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を維持できるよう市内6カ所に地域包括支援センターを設置し、高齢者に関する相談、実態把握、適切なサービスや制度の利用への支援を行います。 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン)	166,555	高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センターによる相談体制をとり、関係機関や地域の関係団体と連携を図りながら支援を行いました。 また、早い段階で地域包括支援センターの相談窓口へつながることができるよう、草津市地域包括支援センターPR月間(9月)を定めて集中的な周知の実施を行うとともに、様々な機会を捉え幅広い年代の方への周知を実施しました。 【相談件数(延べ)】R7 23, 078件	○	169,789	高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を維持できるよう市内6カ所に地域包括支援センターを設置し、高齢者に関する相談、実態把握、適切なサービスや制度の利用への支援を行います。
	生活支援体制整備事業	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、まちづくり協議会等の地域を代表する組織、NPO法人、民間企業、ボランティア団体、その他地域で活動する地縁組織など、地域における支え合い活動を担う多様な事業主体と連携しながら、高齢者の日常生活上の支援体制の充実および強化ならびに高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることを目的といたします。 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	25,568	地域住民や医療・介護・福祉の関係者が集まり、高齢者の課題解決に向けた取組として、地域住民の困りごとを支え合って解決する生活支援ボランティアに関する取り組みの検討や地域資源マップの作成、ピカッと草津(介護サービス等利用時に駐車場がないことで訪問サービスを受けにくいことや、サービスに対する住民の理解不足から生じている駐車場に関する問題を切り口として、地域理解を広げながら、支え合いの仕組みづくりを行う取組)等の取組を実施することができました。 ・医療福祉を考える会議開催学区数 R7:14学区(R6:13学区)	○	23,785	第1層(市全域)と第2層(小学校区)にそれぞれ生活支援コーディネーターの配置と協議体を設置し、地域づくりを担う多様な主体と地域における支え合いの体制づくりを推進するとともに、高齢者の社会参加や生きがい、介護予防を一体的に推進することを目的に実施します。また、市社会福祉協議会と各圏域地域包括支援センター、市の連携を強化し、医療福祉を考える会議を円滑に進めるために共通認識を図ることや地域課題の共有を進めていきます。

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
-------	-------	-------	---------	------	------	-------	-----------	-------	-------	-----------	---------

人権が尊重される社会の推進

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
ダイバーシティ社会の実現に向けた人権教育・相談体制の充実	人権相談	人権センター	●事業の目的・内容 人権侵害にあった方や人権に関する悩み事のある方の話を傾聴し、アドバイスや関係機関等を紹介し、解決へと導きます。 ●位置付けのある関連計画等 人権擁護に関する基本方針	4,131 (人件費) 147 (委託料等)	市民の人権に関する相談を受け、問題解決が図れるよう、関係機関等と連携をとりながら、人権の視点にたった相談窓口(常設相談、特設相談として弁護士及び人権擁護委員による相談)を開設しました。 相談延べ件数:205件(来館:40件、電話等:165件) ・人権擁護委員による相談(法務局事業) 25件 月曜日午前9時～午後4時 ・人権相談員による常設相談 176件 火曜日～土曜日午前9時～午後4時 ・弁護士による相談 4件 毎月第4火曜日午後1時30分～午後4時30分	○	4,055 (人件費) 230 (委託料等)	市民の人権に関する相談を受け、問題解決が図れるよう、関係機関等と連携をとりながら、人権の視点にたった相談窓口(常設相談、特設相談として弁護士及び人権擁護委員による相談)を開設します。 ・人権擁護委員による相談(法務局事業) 月曜日午前9時～午後4時 ・人権相談員による常設相談 火曜日～土曜日午前9時～午後4時 ・弁護士による相談 毎月第4火曜日午後1時30分～午後4時30分
男女共同参画社会の構築	男女共同参画における相談事業	男女共同参画センター	●事業の目的・内容 家庭関係やDVなど、さまざまな課題・困難をかかえる方の相談支援を行い、必要な方には専門家による女性のためのカウンセリングを実施します。また、貧困・孤独により不安を抱える女性に生理用品等の提供を通じた寄り添い支援や居場所づくりに取り組みます。 ●位置付けのある関連計画等 第4次草津市男女共同参画推進計画	9,467	(実施内容) ・男女共同参画相談窓口 相談件数(延べ):339件 DV相談をはじめ総合相談など電話や面談による相談対応を行いました。 ・カウンセリング事業 相談日:第1水曜、第3土曜(各50分の3枠) 相談人数(延べ):62人 女性カウンセラーによる女性を対象とした面接相談を行いました。 ・つながりサポート事業 生理用品提供数:約1176セット 草津市社会福祉協議会へ業務委託を行い、貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性へ、生理用品の提供を通じて各種サービスや地域の支援につなげるなど寄り添った支援を行いました。 ・女性の居場所づくり事業 年6回実施 参加人数(延べ):約82人 まちのコミュニティハブツナグと協働委託契約の上、誰もが気軽に集い、話ができる居場所をつくり、女性がもつ悩み・不安・孤独の解消を図りました。 (評価) ・庁内相談窓口、DVシェルター等への同行を含むワンストップ支援を行うことができました。 ・カウンセラーによる専門相談を通じて、複雑な課題を持つ方への相談支援体制を強化できました。 ・生理用品の提供を通じて、相談先の周知や、地域の支援につなげることができました。 ・女性の居場所づくり事業によって、参加者同士のつながりや、相談窓口の周知を図ることができました。	○	9,596	(実施内容) ・男女共同参画相談窓口 随時実施 DVなどの困難な問題・不安を抱える方への相談支援、困難を抱える女性を行います。 ・カウンセリング事業 相談日:第1水曜、第3土曜(各50分の3枠) 対人関係、家族関係、自分の生き方など、様々な悩み・課題を抱えている女性を対象にカウンセラーによるカウンセリング事業を行います。 ・つながりサポート事業 草津市社会福祉協議会へ業務委託を行い、貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性へ、生理用品等の提供を行います。また、生理用品の提供を通じて各種サービスや地域の支援につなげるなど寄り添った支援を行います。 ・女性の居場所づくり事業 年6回実施予定 まちのコミュニティハブツナグと協働委託契約の上、誰もが気軽に集い、話ができるサロンを開催します。 ○健全都市に向けた効果・ねらい 家庭関係やDV、その他さまざまな困難を抱える方の相談支援を通じ、男女ともに安心して持てる力を発揮できるよう支援します。また、困難を抱える女性が安心してかつ自立して暮らせるよう関係課と連携した支援を行います。

地域での健康づくり

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
地域ごとの健康課題の把握と共有	【再掲】生活支援体制整備事業	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、まちづくり協議会等の地域を代表する組織、NPO法人、民間企業、ボランティア団体、その他地域で活動する地縁組織など、地域における支え合い活動を担う多様な事業主体と連携しながら、高齢者の日常生活上の支援体制の充実および強化ならびに高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることを目的といたします。 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	25,568	地域住民や医療・介護・福祉の関係者が集まり、高齢者の課題解決に向けた取組として、地域住民の困りごとを支え合って解決する生活支援ボランティアに関する取り組みの検討や地域資源マップの作成、ピカッと草津(介護サービス等利用時に駐車場がないことで訪問サービスを受けにくいことや、サービスに対する住民の理解不足から生じている駐車場に関する問題を切り口として、地域理解を広げながら、支え合いの仕組みづくりを行う取組)等の取組を実施することができました。 ・医療福祉を考える会議開催学区数 R7:14学区(R6:13学区)	○	23,785	第1層(市全域)と第2層(小学校区)にそれぞれ生活支援コーディネーターの配置と協議体を設置し、地域づくりを担う多様な主体と地域における支え合いの体制づくりを推進するとともに、高齢者の社会参加や生きがい、介護予防を一体的に推進することを目的に実施します。また、市社会福祉協議会と各圏域地域包括支援センター、市の連携を強化し、医療福祉を考える会議を円滑に進めるために共通認識を図ることや地域課題の共有を進めていきます。

④行動変容につながるまちづくり

コンパクト・プラス・ネットワーク

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
地域公共交通網の充実	まめバス、まめタク事業	交通政策課	●事業の目的・内容 市内における移動手段を確保するため、路線バスが運行できない交通不便地に「まめバス」を運行し、「まめバス」でも運行できない地域においては「まめタク」を運行することにより、持続可能な地域公共交通の充実を目指します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市地域公共交通計画(R6.4までは草津市地域公共交通網形成計画)	92,497	コミュニティバス「まめバス、草津・栗東・守山くるとバス」やデマンド型乗合タクシー「まめタク」を運行し市民の移動手段を確保しました。 まめバス・くるとバスについては、夏休み期間中において、小学生以下のこどもの運賃を無料にする実証実験や、みなくさまつりなどの地域でのイベント等での啓発活動を行い、利用促進に取り組みました。 まめタクについては、一部の地域においてワークジョップを通じて路線再編を検討するとともに、町内会等への説明会を開催し利用促進に取り組みました。 また、まめバス、まめタク等の既存の地域公共交通と連携又はこれを補完する交通手段を提供する取組として、社会医療法人誠光会と連携し、病院の無料送迎バスを活用した実証事業を実施し、地域の移動ニーズ等を把握することができました。 【利用実績】 ・コミュニティバス「まめバス、草津・栗東・守山くるとバス」193,363人 ・デマンド型乗合タクシー「まめタク」2,122人 ・無料送迎バス:2,136人(R7.5～R8.3)	○	88,792	引き続き、コミュニティバス「まめバス、草津・栗東・守山くるとバス」やデマンド型乗合タクシー「まめタク」を運行し、市民の移動手段を確保します。 まめバスについては、夏休み期間中において、小学生以下のこどもの運賃を無料にする実証実験や、地域でのイベント等での啓発を行い、利用促進に取り組みます。 また、まめタクについては、全路線でキャッシュレス決済を導入するとともに、ワークジョップの実施を通しての路線再編の検討や、説明会の開催による利用促進を行います。
歩道のバリアフリー化	歩行空間バリアフリー化事業	道路課	●事業の目的・内容 市民の誰もが自由に移動できる環境を創造し、公共スペースのバリアフリー化と歩行者の安全確保を目指して策定した草津市バリアフリー基本構想の推進を図ります。 「すべての人が心地よく移動できるまち“草津”」を基本理念とし、事業を「短期」「中期」「長期」に分け、「草津駅周辺」および「南草津駅周辺」の2地区を重点整備地区として設定し、重点的にバリアフリー化事業を実施します。 ●位置付けのある関連計画等 草津市バリアフリー基本構想	4,944	・西洪川南2号線他歩道改良工事(L=145.8m)を実施することにより、公共スペースのバリアフリー化と歩行者の安全確保を進めることができました。 工事内容・・・視覚障害者誘導用標示設置	○	38,139	・下記の工事により、公共スペースのバリアフリー化と歩行者の安全確保を進めます。 ・川原洪川線他歩道改良工事(L=240m)

産学公民連携

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
民間と連携した健康拠点の整備と活用	健幸ステーション	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 市民や草津市を訪れる人誰もがいつでも気軽に訪れ、自らの健康状態や健幸情報について知りつつ、地域住民等と交流を図りながら自らの健幸づくりを進めていくことを目指し、「くさつ健幸ステーション」の整備やその活用について、民間と連携して取り組む。 ●位置付けのある関連計画等 草津市健幸都市づくり基本方針	1,367	草津市役所の健幸ステーションに健康管理アプリと連携した体組成計や血圧計を導入したほか、市内の健幸ステーションがある施設の特徴や設置している測定機器の種類などの情報を紹介するシートを作成し、市内の健幸ステーションをまとめた地図「くさつ健幸ステーションMAP」を作成しました。	○	1,514	フェリエ南草津5階市民交流プラザに健幸ステーションを開設し、健康管理アプリと連携した体組成計や血圧計を導入するほか、「くさつ健幸ステーションMAP」を公開型GIS「くさつマップ」で公開します。
健康分野に関する民間・大学との共同調査研究・社会実験	立命館大学との共同研究事業	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 第6次草津市総合計画の基本構想に掲げる「健幸創造都市 草津」の実現に向け、健幸への意識や関心が低い方々(健幸無関心層)への効果的なアプローチの方策を検討するため、働き世代を被験者としたモニタリング調査(健康観察)を行い、本業務を通じて、心身の健康状態を表す「簡易的指標」の開発およびそれに連動した運動プログラム等の開発を目指す。 ●位置付けのある関連計画等 草津市健幸都市づくり基本方針	200	「働き世代の健幸」に係る委託研究の成果を市民へ還元するため、研究結果に基づいた市民公開講座を実施するとともに、運動プログラム動画を作成し、市の公式YouTubeチャンネルで公開しました。	○	—	事業終了

情報発信

◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要	◆R7決算(千円)	◆R7実績	◆評価区分	◆R8予算(千円)	◆R8事業計画
「健幸都市づくり」に関する情報発信の強化	「健幸都市くさつ」広報・啓発事業	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 市民や市を訪れる人等に対し、「健幸」の重要性を発信し、より多くの人に「健幸」を意識してもらうため、「健幸都市くさつ」啓発・PR用動画の放映、ウォーキングイベント等を実施し、様々な方法で情報発信の強化に取り組みます。このことにより、「健幸都市くさつ」の知名度を向上させるとともに、市民の健幸に対する意識を高めます。 ●位置付けのある関連計画等 草津市健幸都市づくり基本方針	2,033	市民が健幸づくりに取り組むためのきっかけづくりや、環境づくりを行うため、広報・啓発事業として、啓発用プロモーション動画の映画館での放映や、横断幕の掲示等に取り組みました。 また、健幸都市くさつ公式SNSでは、市の健幸関連イベントを紹介するnote記事を6件発信するなど、幅広い方に健幸都市づくりの取組を知っていただき、「健幸都市くさつ」の効果的な啓発・周知(情報発信)につなげることができました。	○	2,149	健幸都市くさつ公式SNSを活用し、より多くの方に健幸都市づくりの取組を知っていただくとともに、健幸づくりのきっかけとさせていただけるよう取組を進めます。